

蹴り出しの力を効率的に吸収



快適歩走を明德義塾に

日本道路が四国初適用

日本道路は、ランナーや歩行者に優しい舗装「快適歩走」を高知県明德義塾高校で施工した。四国では初めてとなる。面で捉え、点

クッション性、腰の負担軽減で好評

で押し返す構造になっており、着地や蹴り出しにかかる力を効率的に吸収・伝達するなど、「厚底シューズ」の利点を路面で体感できる。足腰への負担のほかベビーカー・

車いすの振動も軽減できることから、マンション敷地内や病院・高齢者施設などで活用の方が広がっている。6色展開で豊富なカラーに対応。同社は2021年度に施工目標3万平方メートルを掲げている。

快適歩走は、透水性アスコンの表面空隙部に陸上競技場でエンボス層として使っているウレタン樹脂を充填するのが特長。今回施工したのは、須崎市にある同高堂の

浦キャンパスの野球部グラウンド周辺約300平方メートル。安価で、敷きならしや樹脂と特殊砂敷きならし、エンボス仕上げ、アクリル系のトップコート塗布の4工日で施工した。

同高の教諭からは、「従来も蹴り出すタイミングが良かったことから、タイム向上が期待できる」「ジャンプする際のクッション性が良く、膝への負担がなる」など好評だ。





建設通信新聞

軽ッ待なより 程リき樹施ン
くシでっり をルな脂工ド

2021年04月28日 010面 01版 No.06